



監督 松井久子

音楽 長谷川久美子 / プロデューサー 補 山田睦美 / 助監督 上村奈帆
製作・著作 株式会社エッセン・コミュニケーションズ / 制作協力 MOCAL
デザイン 粟野 順 / Web制作 清水 晃 / デジタルマーケティング HiGH CONCEPT Inc.



支援「私たちの主権」委員会

声をあげる
私たち

憲法クニの 不思議な

ドキュメンタリー映画

Photography: Takashi Yasui



公開上映会 + 松井久子監督 × 上野千鶴子氏 × SPARTークセッション
2016年7月4日(月)18:30-21:30 立教大学池袋キャンパス7号館7101教室

主催: 安全保障関連法に反対する立教人の会

共催: 立教大学ESD研究所 / コミュニティ福祉学部 / 経済学部 / 文学研究科比較文明学専攻 / 平和・コミュニティ研究機構

後援: 立教大学ジェンダーフォーラム / 立教大学教職員組合

憲法には「私はどう生きるべきか」が書いてある。

不思議なクニの憲法

この映画は、憲法論議が政治によって進められるのではなく、主権者である
私たち国民の間に広がることを願ってつくられたものです。
国のかたちをきめる憲法に、誰もが当たり前に関心を持ち、正しい知識を得、
そして理解を深めるために、歴史的事実を重んじながら
「意見」よりも日常に根ざした「人びとの声」に耳を傾けます。
怒りや憎しみから出発する議論は広がっていきません。
対立よりも冷静な選択を—。
私たち一人ひとりが個として大切にされる自由な社会を守りたい。
映画にメッセージがあるとすれば、その一点の「希い」のみです。

<映画の内容>

- 立憲主義って何？ ● 歴史に学ぶ(敗戦から日本国憲法の成立まで) ● Peopleを主役に(国民主権)
- 侵されてはならぬもの(基本的人権の尊重) ● 封建的家族制度からの解放(男女平等) ● 進む憲法の空文化(9条・戦争放棄をめぐって)
- 戦後の日米外交史 ● 沖縄は憲法を手に入れているか ● 未来に向けて— 18歳選挙権と若者の政治参加
- そしてあなたは何を選ぶのか？(自民党の改憲案・護憲派の主張・護憲的改憲派からの提案)

声をあげる 私たち

瀬戸内寂聴さん(作家)／孫崎享氏(元外交官・評論家)／長谷部恭男氏(憲法学者・早稲田大学教授)／伊勢崎賢治氏(紛争解決請負人・東京外国語大学教授)／三浦陽一氏(歴史研究者・中部大学教授)／赤松良子さん(公益財団法人日本ユニセフ協会会長・元文部大臣)／船田元氏(自民党憲法改正推進本部長代理)／カレル・ヴァン・ウォルフレン氏(オランダ人ジャーナリスト)／ナレーション 竹下景子(俳優)



『ユキエ』『折梅』『レオニー』『何を怖れる』の松井久子監督が今だからこそ世に問う、ドキュメンタリー作品第二弾!

過去の作品で長年にわたって各地で自主上映会を重ね、全国にたくさんのサポーターを持つ松井久子監督の、「憲法の未来は私たちが決める」との呼びかけからスタートして約一年。今回もまた日本中の市民たちから寄せられた募金によって映画の完成にこぎつけることができました。「日本国憲法」を手にして70年—。その間当たり前のように平和を享受してきた私たちに、今こそ国の未来を選択する時がやってきました。経済的には世界三位の大国ながら、アメリカ追随一辺倒で独立国の主体性について考えてこなかった国家(政治家と官僚たち)も、権力におもねるばかりの大手メディアも、そして、無関心をきめ込んでいっとうに動こうとしない国民も、この日本はすべてが世界でも稀にみるほど不思議な国。松井監督は「ちよっとした皮肉をこめて、タイトルを『不思議なクニの憲法』とした」と言います。この映画を観ることで憲法問題が「自分ごと」となり、観客の手でひろげられていくことを願っています。

🐦 # 不思議なクニの憲法

<http://fushigina.jp>